

ナカノ商会

16年9月期は営業利益10億円目指す

不採算取引見直しで利益面の改善見込む



関西支店神戸事業所

ナカノ商会(本社・東京都江戸川区・沼澤宏社長)の2015年9月期は、連結ベースで売上高は当初目標の300億円と目標をクリアするも、新センターの立ち上げ費用の増加などにより、営業利益は8億7000万円と目標を下回る見通しだ。16年9月期は大型投資の予定はなく、前期の不採算取引の見直しによる利益面の改善を見込み、売上高は326億円、営業利益は10億円を目指す。

15年9月期は、10月に柏沼南物流センター(千葉県柏市)を開設したのに続き、7月にグッドマン神戸に「関西支店神戸事業所」(神戸市東灘区)をオープン。新センターの立ち上げに伴う設備購入費や要員増による人件費、既存センターの修繕費等も発生。同時に、不採算貨物の入れ替えを行ったことで一時的に売上が減り、利益を押し下げた。

なお、柏沼南物流センターは開設直後からフル稼働となり、柏支店全体として黒字化しており、神戸事業所についてもベースカーゴとなる通販貨物を確保している。沼澤社長は「(新センターに関する)設備投資は終わり、今期(15年9月期)に膿は出し切った。来期は今期の延長戦で、大型の投資を行わない限り利益重視でいく」と話している。